

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	市街地開発事業による小田急相模原駅周辺のまちづくり、市街地開発事業による小田急相模原駅周辺のまちづくり【2】											
計画の期間	平成29年度 ~ 令和04年度					重点配分対象の該当						
交付対象	座間市											
計画の目標	市民の日常生活の拠点となる小田急小田原線小田急相模原駅周辺において、土地利用の促進や、都市型住宅の供給、公共公益施設、生活利便施設の集積による都市機能の拡充を図り、災害に強く、子育て世代や高齢者など、多様な市民が暮らしやすい市街地を形成する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	465	A	465	B	0	C	0	D	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R4末)
1	1号市街地(小田急相模原駅周辺地区、面積:約6ha)の建物不燃化率を80%(H28)から82%(H30)に増加			
	都市計画基礎調査等から建物不燃化率を集計	80%	%	82%
2	小田急相模原駅周辺地区の人口を15,253人(H28)から15,300人(H30)に増加			
	小田急相模原駅周辺地区(相模が丘1丁目、2丁目、3丁目及び5丁目)の人口を集計	15253人	人	15300人
3	相模が丘地区の交通事故発生件数を62件(H28)から58件(R4)に減少			
	相模が丘地区の交通事故発生件数を集計	62件	件	58件
4	座間市北部地域の道路整備の満足度を41.0%(H29)から50.0%(R4)に増加			
	アンケート調査により道路整備の満足度を集計	41%	%	50%
5	小田急相模原駅周辺住民の定住意識を56.6%(H26)から60.0%(R4)に増加			
	市民意識調査により小田急相模原駅周辺住民の定住意識を集計	57%	%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
座間市都市整備課が主体となり、関係機関への調査及び市民へのアンケートを実施し、事業成果の実測を行った。また、庁内や第三者の意見を求め、評価内容の検討を行った。		令和5年度	
		公表の方法	
		座間市ホームページへ掲載	

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画の見直しによる事業の縮小により、効果が地区全体に波及せず、目標値に達成しなかった指標があった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

今後の方針として、整備したインフラの点検及び維持管理に努め、計画の見直しにより、縮小された事業を着実に進めることとした。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	1号市街地（小田急相模原駅周辺地区、面積：約6ha）の建物不燃化率 事業最終年度（令和3年度）時点での都市計画基礎調査の実測値を実績値としたため。
	最終実績値	
2	最終目標値	小田急相模原駅周辺地区（相模が丘1丁目、2丁目、3丁目及び5丁目）の人口 事業最終年度（令和3年度）末時点での人口の集計を実績値としたため。
	最終実績値	
3	最終目標値	相模が丘地区の交通事故発生件数 計画の見直しにより事業を縮小したため。
	最終実績値	
4	最終目標値	道路整備の満足度 計画の見直しにより事業を縮小したため。
	最終実績値	
5	最終目標値	小田急相模原駅周辺住民の定住意識 事業による生活環境の改善により、定住意識が向上したため。
	最終実績値	